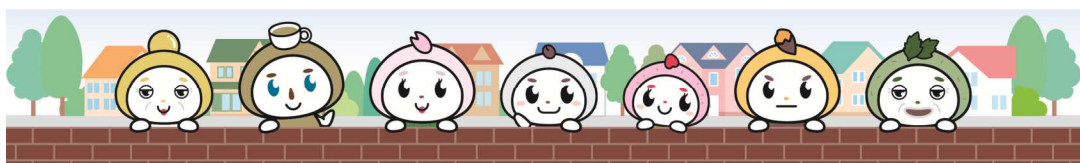


宇佐市社会福祉協議会

平成29年度 事業報告書



社会福祉法人 宇佐市社会福祉協議会

【法人運営部門】・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～8

【地域福祉部門】・・・・・・・・・・・・・・・・・・9～15

【在宅福祉部門】・・・・・・・・・・・・・・・・・・16～17

【院内圏域地域包括支援センター】・・・・・・・・・・17

事業実施概要

平成 29 年度の我が国では、団塊世代が高齢期を迎え、世界に類を見ない速さで高齢化が進行しています。要介護高齢者や一人暮らし高齢者の増加、無縁社会の風潮が浸透する中で、虐待、孤立死、閉じこもりなどの問題も表面化してくるなど、地域を取り巻く環境は、とりわけ複雑化、多様化しています。

このような社会の変動の中、本会では地域福祉推進のために重点項目を 7 点掲げ「だれもが安心して暮らせるまちづくり」「災害に強いまちづくり」を推進していきましました。

法人運営部門では、本会の使命に沿うよう各部門の事業遂行に必要な基盤整備を行うとともに、「社協だより」や「ホームページ」など広報や啓発活動を充実させ、常に最新の状況を公開し、社協と住民の顔の見える関係づくり及び知名度の向上に努めました。

地域福祉部門では、地域福祉を総合的に推進するため、高齢者福祉事業、障がい者福祉事業、ボランティアセンター事業及び生活困窮者の支援を行いました。また、認知症を患う方が住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、認知症地域支援推進員を中心とした地域作りに努めました。

さらに地域の繋がりを強化するため「高齢者ふれあいサロン」「認知症予防教室」「地域に根ざした介護予防教室」など地域住民が主体となる地域に根ざした活動を展開していきましました。

子育て支援部門では、核家族化や少子化が進行する中で、子どもが心身ともに健やかに育成できるように、また子育ての不安を解消し、安心して子どもを産み育てることができるよう、事業を充実させました。

在宅福祉部門では、質の高いサービスの提供に努めました。利用者の満足度を常に意識し、また新しい制度にスムーズに対応できるよう、技術の向上を図り、関係法令を遵守したサービスの提供を行いました。

また、平成 29 年度は 7 月に九州北部豪雨、9 月には台風 18 号など大規模災害が頻発し、県内に甚大な被害をもたらしました。近年の自然災害による被害規模は、想定を超えることが多くなり、加えて、南海トラフ地震の発生が懸念されていることから、自然災害に対する備えがますます重要になってきました。本会の災害時における役割の重要性についても、今まで以上に問われています。発災時の対策について協議を進め、本年度は市内 13 団体と宇佐市災害ボランティアネットワークを構築しました。

また、今回、被災地の復興と被災された方々の生活再建をサポートするため、現地の災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。今後、市内での発災時に備え、迅速な復興対応ができるように体制を整備していきます。

災害対策と合わせて、総合的に地域福祉の推進に努めた 1 年でありました。

【 法人運営部門 】

1. 理事会の開催

【第1回理事会】 平成29年4月1日 午前11時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
理事7名出席 監事2名出席

- 第1号議案 宇佐市社会福祉協議会会長の選任について
- 第2号議案 宇佐市社会福祉協議会副会長の選任について
- 第3号議案 宇佐市社会福祉協議会定款細則(案)について
- 第4号議案 宇佐市社会福祉協議会経理規程の一部改正(案)について

【第2回理事会】 平成29年6月19日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
理事9名出席 監事2名出席

- 報告第1号 会長の職務の執行状況について
- 第1号議案 平成28年度宇佐市社会福祉協議会事業報告について
- 第2号議案 平成28年度宇佐市社会福祉協議会決算について
- 第3号議案 評議員候補者の推薦について
- 第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について

【第3回理事会】 平成30年1月30日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
理事9名出席 監事1名出席

- 報告第1号 会長の職務の執行状況について
- 報告第2号 平成29年度社会福祉法人指導監査結果について
- 報告第3号 平成30年度組織機構の改正について
- 第1号議案 平成30年度宇佐市からの委託事業の受託について
- 第2号議案 宇佐市社会福祉協議会給与規程の一部改正(案)について
- 第3号議案 宇佐市社会福祉協議会役員・評議員報酬規程(案)について
- 第4号議案 宇佐市社会福祉協議会経理規程の一部改正(案)について
- 第5号議案 積立資産の目的及び名称の変更(案)について
- 第6号議案 評議員候補者の推薦について
- 第7号議案 第2回評議員会の招集について

【第4回理事会】 平成30年3月13日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
理事8名出席 監事2名出席

- 報告第1号 会長の職務の執行状況について
- 第1号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
- 第2号議案 平成30年度宇佐市社会福祉協議会事業計画(案)について

- 第 3 号議案 平成 30 年度宇佐市社会福祉協議会資金収支予算(案)について
- 第 4 号議案 宇佐市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について
- 第 5 号議案 平成 29 年度第 4 回評議員会の招集について

2. 評議員会の開催

【第 1 回評議員会】 平成 29 年 4 月 1 日 午前 10 時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
評議員 15 名出席

第 1 号議案 理事並びに監事の選任について

【第 2 回評議員会】 平成 29 年 6 月 26 日 午前 10 時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
評議員 18 名出席 監事 1 名出席

第 1 号議案 平成 28 年度宇佐市社会福祉協議会事業報告について

第 2 号議案 平成 28 年度宇佐市社会福祉協議会決算について

第 3 号議案 理事の選任について

【第 3 回評議員会】 平成 30 年 2 月 14 日 午前 10 時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
評議員 17 名出席

報告第 1 号 平成 29 年度社会福祉法人指導監査結果について

報告第 2 号 平成 30 年度組織機構の改正について

第 1 号議案 平成 30 年度宇佐市からの委託事業の受託について

第 2 号議案 宇佐市社会福祉協議会給与規程の一部改正(案)について

第 3 号議案 宇佐市社会福祉協議会役員・評議員報酬規程(案)について

第 4 号議案 宇佐市社会福祉協議会経理規程の一部改正(案)について

第 5 号議案 積立資産の目的及び名称の変更(案)について

第 6 号議案 理事の選任について

【第 4 回評議員会】 平成 30 年 3 月 27 日 午前 10 時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
評議員 14 名出席

第 1 号議案 平成 29 年度宇佐市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について

第 2 号議案 平成 30 年度宇佐市社会福祉協議会事業計画(案)について

第 3 号議案 平成 30 年度宇佐市社会福祉協議会資金収支予算(案)について

第 4 号議案 宇佐市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について

3. 監事会の開催

【監 査】 平成 29 年 6 月 12 日 午前 10 時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室

4. 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 平成29年7月14日 午前10時

第2回 平成30年2月22日 午前10時

宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室

5. うさ福祉フェスタの開催

宇佐市ボランティア連絡協議会と共催により、福祉事業に功績顕著な個人、団体等の表彰とボランティアの活動発表及び認知症予防啓発講演会を実施しました。

(1) 期 日 平成29年10月29日(日)

(2) 会 場 院内文化交流ホール

(3) 参加者数 250名

(4) 概 要 (式典、活動発表、講演会)

○式典

- | | | |
|--------|---------------|---------|
| ①会長表彰 | ・民生委員・児童委員功労者 | 1名 |
| | ・社会福祉事業関係功労者 | 6名 |
| | ・模範自立更生者 | 1名 |
| | ・社会福祉事業協力功労者 | 2名・1団体 |
| | ・老人、身障介護功労者 | 2名 |
| ②会長感謝状 | ・社会福祉事業協力功労者 | 14名・3団体 |

○ボランティア活動発表

- ① ボランティア団体 1団体 (ボランティアグループ石楠花)
- ② 災害ボランティア活動報告

○認知症予防啓発講演会

「正しく知ろう認知症」

～今日からできる認知症予防～

講師：ライフクリニック 山田達夫先生

6. 広報啓発活動

社会福祉協議会に対する理解を得るため広報・啓発活動の充実を図りました。

広報誌「社協だより うさ」の発行

VOL.36号・・・平成29年6月発行

VOL.37号・・・平成29年9月発行

VOL.38号・・・平成30年2月発行

ホームページの運営

社協ホームページの適時更新

(宇佐市社会福祉協議会の URL <http://www.usa-shakyo.jp>)



7. 共同募金運動の実施・配分

地域福祉を推進するために貴重な財源である赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動に積極的に取り組みました。

【募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金

期 間 平成29年10月1日～平成29年12月31日

	計画	実績	備考
募金総額	7,630,000 円	7,096,825 円	平成28年度募金総額 7,621,662 円

(2) 歳末たすけあい募金

期 間 平成29年12月1日～平成29年12月31日

	計画	実績	備考
募金総額	3,500,000 円	3,433,921 円	平成28年度募金総額 3,525,115 円

【配分実績】

(1) 赤い羽根共同募金（平成28年度募金額に対する配分金）

配分総額 4,957,000 円 (配分委員会を平成29年12月5日に開催)

内訳	配分金額	配分先
高齢者福祉	415,000 円	宇佐市老人クラブ連合会
障がい児・者福祉	756,000 円	宇佐・院内・安心院身障協 心理リハビリ教室
児童・青少年福祉	415,000 円	宇佐市認可保育園、認定子ども園協議会 宇佐市青少年健全育成会議、院内町育成会 長洲みんなで良い子に育てる会
母子・父子福祉	57,000 円	宇佐市母子会
福祉育成・援助	3,314,000 円	高齢者ふれあいサロン助成・貸出備品の整備 保護司会、更生保護女性会、宇佐市婦人会

(2) 歳末たすけあい募金

配分総額 3,433,921 円 (配分委員会を平成 30 年 2 月 15 日に開催)

内訳	配分金額	配分先
歳末見舞金品	258,237 円	寝たきり高齢者他
生活支援事業	735,151 円	配食サービス、友愛訪問、高齢者見守り活動
総合福祉	1,776,000 円	宇佐市民児協、宇佐市ボラ連他
災害・緊急関係	664,533 円	災害ボランティアセンター機材整備

8. 一般寄付、香典返しによる寄付

寄せられた寄付金は、福祉事業運営に大切に使用させていただきました。

	計画(件数)	実績(件数)	計画(金額)	実績(金額)
一般寄付	20 件	22 件	250,000 円	498,312 円
香典返しによる寄付	380 件	322 件	9,200,000 円	7,238,000 円

(寄付金の使途)

	金額	備考
福祉活動費	3,454,599 円	安心ネットワーク構築、要援護者見守り 行方不明者捜索模擬訓練
福祉バス運行管理費	79,584 円	
広報費	580,000 円	
ボランティア活動費	1,687,129 円	
生活保護繋ぎ資金	1,935,000 円	

9. 福祉バスの運行

福祉関係機関等が福祉事業推進のための会議、研修会、講習会等にバスを運行しました。

【運行実績】 年間 107 回

内訳	回数
児童福祉	20 回
高齢者福祉	24 回
障がい者福祉	24 回
ボランティア	9 回
民生委員	17 回
その他	13 回

10. 本会への苦情の状況

本会が実施している事業、サービスについて各部署に苦情受付担当者、責任者を設置し、適切に解決を図るよう努めました。

【苦情内容及び処理状況】

平成 29 年度苦情はありませんでした。

11. その他

(1) 職員の健康管理（定期健診の実施）

全職員（29年9月～30年2月）宇佐高田成人病検診センター

【 地域福祉部門 】

1. 地域福祉事業の推進

(1) ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業（旧市内）（共同募金活用事業）

- ・ひとり暮らしの70歳以上の高齢者へ、乳酸菌飲料の販売員が訪問し安否確認を実施しました。

	計画	実績
対象者	30名	27名
延べ訪問回数	3,000回	2,521回

(2) ひとり暮らし高齢者ふれあい交流会の開催（院内地区）（市受託事業）

期 日 平成29年11月22日 午前11時

会 場 宇佐市院内文化交流ホール

参加者数 131名

(3) 配食サービスの実施（院内地区）（共同募金活用事業）

- ・年1回75歳以上のひとり暮らし高齢者、80歳以上の高齢者世帯へ弁当を配達しました。

実 施 日 平成30年3月6日、14日（2日間）

配 食 数 274食

(4) 点字講習会の開催(市受託事業)

- ・基礎編 月2回実施 年17回（会場：社協本所会議室 受講者：1名）

(5) 心理リハビリ教室の開催（共同募金活用事業）

- ・脳性マヒなど肢体不自由を持つ障がい児の動作の改善を目的として実施しました。

月2回実施 年23回

(6) 「うさっ子サポートセンター」の運営(市受託事業)

	計画	実績
おねがい会員	35名	40名
まかせて会員	35名	46名
活動件数	350件	180件

(7) 住民参加型有償サービス「おんもらと」の運営（共同募金活用事業）

- ・低所得の高齢者に対して、買い物や家事、家の周りの環境整備などを実施しました。

	計画	実績
協力会員	10人	3人
利用者	20名	19名
活動件数	50件	48件
活動人員	50件	48名
延べ活動時間	200時間	190時間

(8) 各種福祉機器等の貸出(自主事業)

(単位：件)

品目	本所	院内支所	安心院支所
電動ベッド(新規)	—	—	—
車イス	46	5	6

(9) 生活福祉資金の貸付業務(県社協受託事業)

- ・相談件数：80件
- ・貸付件数：21件
- ・貸付金額：7,295,000円

※県社協にて審査

福祉費	4件	401,000円	20年以内で償還期間を選択
緊急小口資金	12件	1,076,000円	1年以内で償還
教育支援資金	5件	5,818,000円	20年以内で償還期間を選択

2. ボランティア事業の推進

(1) ボランティア活動の相談、登録、斡旋(市受託事業)

地域や個人の困りごとを解決し、不安な日々を、心温かい日々に変えていくために、ボランティア事業の推進を図りました。

	計画	実績
ボランティア登録数 グループ	50グループ 1,700名	51グループ 1,330名
ボランティア登録数 個人	20名	7名
ボランティア登録数 協力校	7校	10校
相談件数	30件	23件
斡旋件数	30件	23件

イベントや施設行事の補助、支援学校の授業補助等、買物・通院介助

3. 福祉教育の推進

講話や体験学習等を通じて、すべての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、ともに生きる人間の育成を目的に実施しました。

(1) 出前教室の実施(市内小・中学校)(市受託事業)

計画	実績
30回実施	31回実施

(内訳)車いす体験	1回
手話	9回
点字	15回
アイマスク体験	4回
ふうせんバレー	1回
講話	1回

(2) ボランティア協力校の活動支援(市受託)

封戸、宇佐、長峰、安心院、佐田、深見、八幡、糸口小学校
安心院中学校、宇佐高校

1年間指定 1校につき4万円の活動助成金を交付

4. ボランティア連絡協議会の活動支援（共同募金活用事業）

ボランティア連絡協議会の事務局として、活動の支援及び助成を行いました。
社協とボラ連が共催で「第13回うさ福祉フェスタ」を実施しました。

環境美化運動

内 容	環境整備
期 日	平成30年3月17日
場 所	院内平成の森公園周辺
参加者	74名（前年度対比）34名増

5. 夏のボランティア体験月間の実施(県社協統一事業)

市内の保育園、福祉施設等の協力を得て、ボランティア活動のきっかけづくりを目的におこないました。

計画	実績
参加者 100名	参加者 61名

6. 他機関との連携等

- ・夏季日中一時支援事業「すきっぷ」のボランティア受付と調整 15名
- ・各種ボランティア保険の加入促進および事務 895件

7. 介護予防ボランティア活動（市受託事業）

	計画	実績
登録人数	35名	34名
開催教室	140教室	142教室
延べ派遣人数	820人	722人

8. 高齢者ふれあいサロン事業（市受託事業）

地域の高齢者が歩いて参加でき、「楽しく」「気軽に」「無理なく」過ごすことができるサロンづくりを推進しました。

22年度	12ヶ所	23年度	10ヶ所
24年度	26ヶ所	25年度	26ヶ所
26年度	15ヶ所	27年度	10ヶ所
28年度	3ヶ所	29年度	7ヶ所

計画	実績
100ヶ所	102所

9. 認知症予防教室（市受託事業）

認知症は誰でも発症する可能性があります。そのために、元気なうちから取り組むことが大切になります。市内20グループが予防のため作業療法、運動療法、料理プログラムなど実践しています。

計画	実績	備考
20 教室	20 教室	

（教室一覧）

安心院けんこうクラブ火曜日（安心院）	安心院けんこうクラブ木曜日（安心院）
安心院けんこうクラブ金曜日（安心院）	原口なかよし会（院内）
中央いきいき会（安心院）	下時枝けんこう教室（宇佐）
下森山認知症予防教室（宇佐）	高森ヘルス（宇佐）
沖けんこう教室（院内）	麻生認知症予防教室（宇佐）
長洲認知症予防教室（宇佐）	金丸認知症予防教室（宇佐）
新貝認知症予防教室（宇佐）	松崎認知症予防教室（宇佐）
江島認知症予防教室（宇佐）	柳ヶ浦オレンジ会（宇佐）
東宮認知症予防教室（宇佐）	清水認知症予防教室（宇佐）
新吉松認知症予防教室（宇佐）	常德認知症予防教室（宇佐）

視察：県内2団体 県外6団体

相談件数：82件

10. 認知症支援推進員の活動(市受託事業)

	計画	実績	備考
相談件数	100件	110件	
啓発	30行政区	34行政区	
講演会	0回	1回	
模擬訓練	2ヶ所	2ヶ所	
視察対応	5件	5件	県外4団体
取材受入	0件	3件	NHK2件 TOS1件
認知症サポーター養成講座	0件	12件	
訪問支援	0件	71件	

11. 認知症初期集中支援チームの活動(市受託事業)

	計画	実績
相談件数	20件	39件
訪問	30件	86件
啓発活動	30件	16回

1 2. 黄色い旗運動(市受託事業)

玄関先などの目につきやすい場所に「黄色い旗」を掲揚することにより地域全体での見守りや安否確認ができるように黄色い旗を配付しました。

	計画	実績	備考
実施地区	30ヶ所	28ヶ所	1地区増
延配布枚数	3,200枚	3,571枚	171枚増



1 3. 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

(1) 「あんしんサポートセンター宇佐」の運営

- ・認知症等により判断能力が不十分になった方や支援を必要とされる高齢者、知的・精神障害のために支援を必要とされる方へ、関係機関との連携を図りながら福祉サービス利用や金銭管理の援助を行いました。

	計画	実績
利用者数	75名	72名
延べ活動件数	1,300件	1,151件
生活支援員	7名	6名

1 4. 障がい者移動支援事業（市受託事業）

- (1) かけはし号の運行 リフト付ワゴン車 10人定員内車いす2脚 1台
 リフト付ワゴン車 10人定員内車いす1脚 1台

- ・屋外の移動が困難な障がい者・児に対して、ボランティアが安全な外出の支援を行い、余暇を楽しく過ごすとともに、自立生活及び社会参加を促すことを目的に「かけはし号」を運行しました。

	計画	実績
運行回数	165回	158回
延べ利用者	1,000名	949名



15. その他の受託事業

(1) 児童館運営(指定管理業務)

うさ児童館

	計画	実績
1日平均利用者数	80名	246名
開設日数	307日	308日
延べ利用者数	25,000人	28,194人

安心院児童館(指定管理業務)

	計画	実績
1日平均利用者数	35名	38.3名
開設日数	289日	291日
延べ利用者数	10,000人	11,149人

(2) 放課後児童クラブ（津房地区）（市受託事業）

	計画	実績
1日平均利用者数	6名	9.4名
開設日数	258日	257日
延べ利用者数	1,500人	2,417人

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

(3) 食の自立支援事業(市受託事業)

- ・院内、安心院圏域で栄養管理や安否確認が必要な高齢者に対して配食をおこないました。

	計画	実績
院内	650食	545食
安心院	900食	1,044食

(4) 子育て支援拠点事業（院内・安心院支所）（市受託事業）

- ・未就園児を子育て中の保護者の方が、自宅にこもることなく気軽に参加し交流できる場、子育てを相談できる場を提供しました。

・院内 開設日 月・木・金

	計画	実績
延べ参加者人数 大人	380名	551名
延べ参加者人数 子ども	470名	608名
開設日数	142日	144日

・安心院 火・水・金

	計画	実績
延べ参加者人数 大人	890名	649名
延べ参加者人数 子ども	980名	967名
開設日数	150日	148日

【 在宅福祉部門 】

1. 介護保険事業の実施

(1) 居宅介護支援事業の実施

	計画	実績
ケアプラン作成数	1,800 件	1,722 件

- ・ サービス利用にかかるモニタリングの実施
- ・ サービス担当者会議の実施

(2) 訪問介護事業の実施

	計画	実績
延べ利用者数	350 名	422 名
延べ訪問回数	3,000 回	3,190 回

- ・ 連絡調整会議の開催（月 1 回）
- ・ サービス担当者会議への参加

(3) 通所介護事業の実施

（院内町デイサービスセンター）

	計画	実績
1 日平均利用者数	20 名	18 名
開設日数	256 日	253 日
延べ利用者数	5,000 人	4,488 人

（安心院老人デイサービス）

	計画	実績
1 日平均利用者数	20 名	17 名
開設日数	256 日	256 日
延べ利用者数	5,000 人	4,227 人

- ・ デイサービスだよりの発行
- ・ サービス担当者会議への参加

(4) サービスの質の向上を目指し、各種研修会への参加

- ・ 介護支援専門員研修・訪問介護員研修・介護職員研修
- ・ 看護職員研修・調理職員研修・その他

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

2. 障がい者自立支援事業の実施

(1) 障がい者生活介護センターの運営

	計画	実績
1日平均利用者数	10名	7.8名
開設日数	256日	256日
延べ利用者数	2,400人	2,011人

(2) 障がい者居宅介護事業（訪問介護）の実施

	計画	実績
延べ利用者数	150名	55名
延べ訪問回数	800回	378回

(3) サービスの質の向上を目指し、各種研修会へ参加

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

【 院内圏域地域包括支援センター 】

(1) 介護予防マネジメント業務の推進

- ・特定高齢者の把握

(2) 総合相談・支援事業の推進

- ・総合相談の実施及び支援

電話による相談：42件

来所による相談：31件

訪問による相談：33件

- ・関係者による「院内圏域地域包括ケア会議」の開催：12回
- ・介護予防教室や高齢者サロンへの参加
- ・地域組織への支援
- ・介護予防に関する講演会の実施
- ・権利擁護に関する業務
- ・介護支援専門員への支援

(3) 指定介護予防事業の実施

- ・介護予防プランの作成と評価

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

(4) 地域ネットワークの構築

- ・虐待防止
- ・災害時高齢者支援
- ・認知症対策の推進
- ・医療と介護、福祉の連携

(5) 学生の実習受け入れ